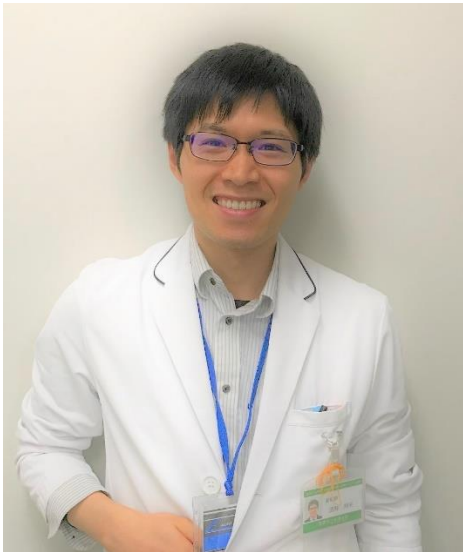


薬剤師インタビュー



美濃病院で働くきっかけ・・・

僕が美濃病院を目指した理由は、2つあります。

ひとつは小さな総合病院に行きたかった事。小さな総合病院に行けば、医療の一通りの流れを見られて面白だろうなと。それまでいた調剤薬局は、医療の「診療・検査・処方決定・調剤・投薬」の流れのうち「調剤・投薬」がメインで、それが僕には物足りなく感じていました。「この抗生剤、なんの目的で処方されてるの?」「薬の名前だけじゃなく、病名や検査数値・Drの見解も分かれば指導しやすいのにな」って。

もうひとつは、家族との時間が取り易い事。ずっと民間の調剤薬局にいたので、転勤の多さ・通勤時間の長さがネックでした。転勤のたびに新しいやり方になるし、都心部に通うと通勤時間も長くなる。転職決意したとき僕は結婚したばかりで、「家族との時間が欲しいなあ」って思っていました。そんなとき、たまたま募集していた美濃病院は夜勤・当直もなく、土日出勤もほとんどなく、(系列病院がないので)転勤もない。だから「美濃病院に就職して、その近くに住めば、家族との時間が一杯とれるのでは」と考えました。

入職して感じたこと・・・

医療の一通りの流れを見せてくれる病院です。(院内の)薬局は4人体制と少ないのですが、自分の割合が大きい分、意見も反映されやすいです。また自分の責任も大きいのですが、他職種の方にも相談ができ、つらい時は助けていただけます。

僕の大事にしていた、家族との時間も取り易いです。僕には1歳の娘がいるのですが、

娘を病院の託児室に預けながら、フルタイムでの勤務も可能です。毎日 18 時ごろ勤務を終えて帰ることが出来ます。薬剤師で育児中の方は他にもみえ、十分子育てしやすい環境だと思います。

美濃病院への想い・・・

一通りを経験させていただいて、Dr にもすぐ相談・提案ができて、患者さんも優しく、医療の本質を感じやすい、いい場所です。この病院が存在するだけで、この地域の方に安心を提供していると思います。僕にとっても育児・仕事の両立させてくれる良い職場です。

だから、今後もずっと美濃病院がこの地域医療の重要な役割を担う事を願っています。続く為にはまず、次の世代を育てないといけない。だから今の自分に出来ることとして、実務実習認定指導薬剤師を取得し、薬学生を受ける準備を整えています。